

## 事業一覽

### ●特別展覧会

倭国 邪馬台国と大和王権

会期 三月二十三日(火)―五月九日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・毎日新聞社

黄檗の美術 江戸時代の文化を変えたもの

会期 十月五日(火)―十一月七日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

協力 黄檗山萬福寺

### ●特別陳列 (▽印は定例的な陳列)

鉄斎の屏風 一月五日(火)―二月七日(日)

新館 8・9号室 担当 金沢弘

▽十二天画像と山水屏風 一月五日(火)―二月七日(日)

新館 11号室 担当 泉武夫

▽高台寺蒔絵と南蛮漆器 一月五日(火)―二月七日(日)

新館 中央室・15号室 担当 灰野昭郎

▽人形 二月十一日(木)―三月二十一日(日)

新館 中央室・14号室 担当 河上繁樹

▽新収品展 六月三〇日(水)―七月二十五日(日)

新館 12・14号室

石清水八幡宮関係の神像・仏像 九月七日(火)―十二月二十三日(木)

新館 6・7号室 担当 伊東史朗

高野山天野社伝来の舞楽装束 九月二十九日(水)―一〇月三十一日(日)

新館 中央室・14号室 担当 河上繁樹

### ●出版刊行

『鉄斎の屏風』 一月

特別陳列「鉄斎の屏風」に関連し作成した目録。24×25判、総五六頁、作品件数七。頒価千五百円。

『倭国 邪馬台国と大和王権』 特別展覧会目録 三月

特別展覧会「倭国 邪馬台国と大和王権」の概説 および出品作品の解説付き総目録。変形B5判、総二〇〇頁、作品件数一四。頒価二千円。

『京都国立博物館 学叢』第十五号 三月

当館職員による研究紀要。論文三編。作品研究二編、資料紹介一編、研究随想一編、修理報告、銘文集成、研究彙報などを収録。A4判。総一八八頁。頒価三千円。

『京都国立博物館蔵品図版目録 彫刻・建築』 三月

当館保管(国所有)の彫刻・建築部門作品の図版目録。B5判、総一四二頁、作品件数九二。頒価四千六百三十五円。

『明末・清初の五彩磁器 色絵祥瑞・南京赤絵・康熙五彩』 三月

平成三年度の特別展覧会「日本人が好んだ中国陶磁」に出陳された作品のうち、「色絵祥瑞」「南京赤絵」の皿だけを選び、さらに「康熙五彩」の館蔵品を加えて編集した図録。24×25判、総五六頁、作品件数三〇。頒価千六百円。

『高野山天野社伝来の舞楽装束』 九月

特別陳列「高野山天野社伝来の舞楽装束」に関連し作成した目録。24×25判、総六〇頁、作品件数四二。頒価千五百円。

『黄檗の美術 江戸時代の文化を変えたもの』 特別展覧会目録 一〇月

特別展覧会「黄檗の美術 江戸時代の文化を変えたもの」の概説および出品作品の解説付き総目録。B5判、総二二四頁、作品件数二〇五。頒価千五百円。

### ●シンポジウム

研究発表と座談会「黄檗美術の諸問題―絵画を中心に―」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表 藤澤令夫）

期日 一〇月一八日（月）

会場 京都国立博物館

参加者 六〇名

研究発表 黄檗絵画の源流―明末清初絵画との関係―（西上実）、黄檗画像について（錦織亮介）、江戸時代絵画にみる黄檗影響（成澤勝嗣）

座談会 （司会 狩野博幸）

### ●国内における調査研究

日本美術史上における黄檗影響 担当 西上 実ほか

東アジアにおける仏教美術の受容と交流 担当 泉 武夫ほか

賀茂別雷神社の文化財調査 担当 伊東史朗ほか

### ●海外における調査研究および出張

赤尾栄慶 二月二一日～四月二八日 スイス

禅の美術展出陳品随伴

金澤 弘 二月二六日～三月一三日 スイス

禅の美術展出陳品随伴

山本英男 二月二六日～四月二三日 スイス

禅の美術展出陳品随伴

久保智康 三月一日～三月七日 大韓民国

特別展覧会事前調査

狩野博幸 四月一九日～四月二四日 アメリカ合衆国

日本絵画に関する調査・研究

狩野博幸 五月一〇日～五月二五日 フランス

M I Y A B I 展出陳品随伴

難波洋三 六月一日～六月二〇日 中華人民共和国

西安市周辺遺跡・遺物調査

伊東史朗 七月一日～七月二三日 イギリス

インド美術展出品文化財事前調査

山本英男 九月二二日～九月一八日 アメリカ合衆国

特別展覧会作品調査

久保智康 一〇月一六日～一〇月三一日 大韓民国

国立中央博物館収蔵品調査